

- 御坊幼稚園創立100周年□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光□4
- 座談会・鷺森別院を語る□6
- 100周年祝う御坊幼稚園□8
- 響流十方□9
- つれもて聴こら□12



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2015年(平成27年)
7月
第105号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 ㊚(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

日高別院 御坊幼稚園

創立
100周年



園児ら88人が稚児行列
別院周辺は喜び一色

8面に関連記事

阿弥陀さま

ハウツー仏事と私

⑦ 仏華

お仏壇の荘厳（お飾り）の基本である「香・華・灯」のうち、今回は「華」、つまり仏華・供花についてお話しします。

お仏壇の荘厳（お飾り）の基本である「香・華・灯」のうち、今回は「華」、つまり仏華・供花についてお話しします。

しかし、蓮は原産地のインドでは生命の象徴とされ、仏教に取り入れられて、最高の花と讃えられてきました。仏さまの多くが「蓮華座（蓮台）」にお立ちか、座っておられる姿で表現さ

り良くないイメージをお持ちの方もおられるかもしれませんが、

れているのはそのためです。『仏説阿弥陀經』には、極楽浄土の池に色とりどりの蓮が咲いて、清らかな香りを漂わせている光景が描かれています。

『阿弥陀經』に登場する花は、蓮にとどまりません。極楽浄土では1日6回、天から曼陀羅の花（天妙華）とも言われ、色が美しく、芳しい香りを放ち、見る人の心をよるこぼせるという

土の世界をお荘厳させていただくための、なくてはならないお飾りの一つとなりました。

ラジオ放送番組 みほとけとともに

- 西本願寺の時間 -

◆ 毎週土曜日	午前 5 時 5 0 分から
- 和歌山放送 (WBS) -	
和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	1557kHz

宝でできた池があつて、不可思議な力を持った水がなみなみとたたえられている。……また池の中には車輪のように大きな蓮の花があつて、青い花は青い光を、黄色い花は黄色い光を、赤い花は赤い光を、白い花は白い光を放ち、いずれも美しく、その香りは高く清らかである」

浄土真宗の仏華は生花を用い、造花や常花（金属製や木製の蓮の花）は用いられません。生花であれば、新しい花でも2、3日でお入れられて、私たちがお浄

花の美しさや良い香りを通して、仏さまの世界に思いをはせることは自然なことだと思われませんが、それがお仏壇という空間に取り入れられて、私たちがお浄

花の美しさや良い香りを通して、仏さまの世界に思いをはせることは自然なことだと思われませんが、それがお仏壇という空間に取り入れられて、私たちがお浄

花の美しさや良い香りを通して、仏さまの世界に思いをはせることは自然なことだと思われませんが、それがお仏壇という空間に取り入れられて、私たちがお浄

極楽浄土の美しい光景 お花で表現

や年忌法要などの仏事に用いる金封やのし紙に蓮の花が印刷されていることが多いことから、蓮の花にあま

お仏壇の仏華の立て方



①花瓶に真の青木を立てる



②前花の菊などを生ける



③胴のメインの花を生ける



④前置の青木を最後に挿し完成

美しい仏華で荘厳されたお仏壇にお参りして、煩惱にもがき苦しんでいる私たちを救おうと、常に働き掛けてくださっている阿弥陀さまのお慈悲のお心をしばさせていただきますしょう。

（松本教智・「御同朋の社会をめぐす運動」和歌山教区委員長）

描点蹟祖

7 比叡山 浄土院

新

親鸞聖人の比叡山でのご足跡をたどるにあたって、伝教大師最澄(767~822)が比叡山を開かれた際の基本理念について知っ

拜殿の奥にある伝教大師御廟



ておく必要がある。

伝教大師が比叡山に分け

き方を選ばれたのである。

伝教大師は入山にあたり、

「聖者に等しい位に達し

比叡山では現在も、その

入って草庵を結んだのは弱冠19歳、東大寺で受戒して僧となった3カ月後のことだった。

わすか3カ月で官僧の道を捨て、山での不自由な生活の中で自らを見つめ、経典を繰り返し読み、あらゆる存在が救われていく道を求める生き方を選ばれたのである。

き物の害になつてい、と。世の中に対し、例えば当時の仏教界に対して不満があったとしても、批判の言葉はいっさいない。伝教大師はあくまでもわが身を責めるのである。その悲嘆は、「愚が中の極愚、狂が中の極狂、塵汚の有情、底下の最澄」という言葉に極まる。

間、山を下りることなく学問と思索と行に明け暮れた。この体験が基となって伝教大師が晩年定めたのが、比叡山における「十二年籠山」制である。天台宗において僧となった者は12年間山を下りず、聞慧(教を学ぶこと)、思慧(思索)、修慧(実践行)に励む。伝教大師はそれを基礎として、国の宝ともなる道心ある人求道心に篤い僧を育てようとしたのである。

現在の制度は、1699年(元禄12)の「開山堂侍真条制」によるといふ。侍真僧はこれに従い、12年間1日も欠かすことなく、午前3時半に起床して午後9時に就寝するまで、伝教大師への1日2回の食事などのお給仕にいそしみ、勤行や修法に打ち込んでいる。

「願文」をしたためた。その文章に横溢しているのは、さとりから余りにも遠いわが身に対する悲嘆・悲傷の念と、それゆえに真実の道を求める切なる思いである。伝教大師は言われる。わが行いを尋ねれば、戒を守れない身でありながら、衣服・飲食・臥具・湯薬などを他人の世話になり、愚かな身によって、あらゆる生

ないかぎり」「真実の道理を明らかにしないかぎり」「戒を完全に守る身とならないかぎり」「さとり智慧を得ないかぎり」断じて山を下りない。もし、これら4つの願いが達せられたら「その功德を自分ひとりが受けるのではなく、あまねくすべての人に施し、最高のさとりを得させよう」。

【参考文献】安藤俊雄・蘭田香融『日本思想大系4 最澄』(岩波書店)

い清浄・清冽な雰囲気にとられる。境内は完璧に掃き清められ、真っ白な砂利の上には、落葉一つない。行の中心は、生身の伝教大師にお仕えするようにお給仕を務めること。だからこの行に専心する僧を、伝教大師の御真影に侍るといふ意味で侍真僧と呼ぶ。

比叡山開かれた伝教大師ご廟所



伝教大師最澄のご廟所・浄土院(拜殿)

12年籠山の理念 今に

「願文」をしたためた。その文章に横溢しているのは、さとりから余りにも遠いわが身に対する悲嘆・悲傷の念と、それゆえに真実の道を求める切なる思いである。伝教大師は言われる。わが行いを尋ねれば、戒を守れない身でありながら、衣服・飲食・臥具・湯薬などを他人の世話になり、愚かな身によって、あらゆる生

浄土院 滋賀県大津市坂本本町4-220
 電話077(578)0001(代)

比叡山 京都府京都市東山区
 電話075(551)1111

交通 京都駅でJR湖西線に乗り換え13分、「比叡山坂本」駅下車、同駅前から江若バス・ケーブル坂本線で7分、「ケーブル坂本」駅下車、坂本ケーブルに乗り換え11分、「ケーブル延暦寺」駅下車、徒歩25分。

【参考文献】安藤俊雄・蘭田香融『日本思想大系4 最澄』(岩波書店)

青色 青光

宗門総合振興計画にかかる総局巡回開催

去る6月8日、本願寺鷺森別院において、宗門総合振興計画にかかる総局巡回が開催され、教区内より120人が集まった。来る伝灯奉告法要並びに親鸞聖人



新たな計画を熱心に聞く参加者(鷺森別院本堂)

支計画、また伝灯奉告法要の団体参拝について説明と周知を目的として、本山から本多隆朗総務、高橋篤法副総務、東森尚人所務部長

等が出向。教区内僧侶、門徒へ理解と協力を求めた。



質問に回答する本多総務

二尊会と宗祖降誕会が修行

5月13日から16日の4日間、鷺森別院では二尊会の法要が厳かに営まれた。この二尊会は、鷺森御坊(鷺森別院)の開基となる「賢



二尊会法要中の内陣(5/14速夜)

が浄土真宗第8代宗主蓮如上人より賜って以来、紀州門徒の拠り所となってきた二尊像を奉懸して、お導きをいただいて阿弥陀さまのみ教えに出遇えたことに感謝し、喜ばせてもらう法要で、期間中に約700人が参拝した。

また、5月21日には宗祖降誕会が勤められ、参拝者とともに親鸞聖人のご誕生をお祝いした。法要は、中岡順忍輪番の法話ではじまり、正信念仏偈作法第2種のお勤め、その後、鷺森幼



宗祖のお誕生をお祝いして風船上げ

名称変更 「寺族婦人会」から「寺族女性会」へ

和歌山教区寺族婦人会連盟は、4月30日に鷺森別院で開催された委員会、連盟名称の変更について審議、議決され「和歌山教区寺族女性会」と名称が変更された。そして、5月13日に開催された年次総会で、連盟委員からこの連盟名称の変更の報告が行われ、今年度から「寺族女性会」として活動が展開される。

委員会では以前より、名称変更について継続して審議されてきたが、昨年12月22日に開催された「和歌山教区寺族婦人会連盟30周年記念大会」で、広く意見を聞くため参加者に提案したところ多くの賛同を得て、今回の委員会の決定に至った。名称変更の目的は、寺族女性の一人ひとりが共につながり、情報を共有し寺院振興をはかるために、一人でも多くの寺族女性がこの集まりに参画できるようにと願い、「婦人会連盟」の文字を「女性会」に変更した。

稚園児の歌、保護者のコーラスグループによる讃歌が披露された。引き続き、会場を別院境内に移し、園児による風船上げと相撲が行われ、賑々しく法要が勤められた。

寺院活動紹介 仏前結婚式のススメ

組専 高専 日蓮

お寺で結婚式!

桜満開の4月4日、蓮専寺で池下幸浩・直美様の結婚式が華やかにとり行われました。幸浩さんは蓮専寺日曜学校の卒業生、少年期はお寺に遊びに来ては私を困らせたやんちゃ坊主。大きくなってからは住職のお酒の相手、また子供たちのめんどうも良く見てくれました。今年のはじめ「院主さん、結婚式をお寺でさせてほしい」との連絡があり、私は嬉しくて即答しました。式のお手伝いに高校生の宮村世里菜さん・中崎未歩さん・エレクトーン奏者に中谷美緒さん(三人とも日曜学校卒業生)に声をかけたところ喜んで引き受けてください、また子供たちや若いお母さんたちも一緒に

となつて華やかな中にもおごそかな仏前結婚式となりました。教が多いのでしょうか。しかし儀式の執行は司婚者が行います。婚姻の儀を司る神主さまや牧師さまは、ほとんど結婚をする当人たちを知らない場合が多く、当日顔合わせをした後は話をす



お育て頂いた仏さまの前で記念撮影

お寺での結婚式は珍しいことなのかもしれません。現在仏教の関わる結婚式の形態として神道やキリスト

することも顔を覚えることもないのではないのでしょうか。「うちのお寺で結婚をしたい」「結婚式のお手伝いしてくれんか」子供のころからの思い出も、結婚後これからの関わりまで含めての仏前結婚式でありますから、まことに尊い事でも

あります。お寺はお預かりしたご門徒と関わる中で、一緒に喜び、一緒に悲しんでいる。そして一緒に阿弥陀さまのおみりを聞き、お念仏を申している。それがお寺ではないのでしょうか。うれし

い仏前結婚式でした。(日高組蓮専寺住職・岩崎法明さんより投稿頂きました)

各教化団体 新役員就任

■教区仏教婦人会連盟

教区仏教婦人会連盟では、役員・委員の改選により、新たに次の方々が就任した。任期は3年(平成27年4月1日から平成30年3月31日まで)。※敬称略

久堀多久美(和南組善福寺) 教区寺族女性会 教区寺族女性会では、役員・委員の改選により、新たに次の方々が就任した。任期は2年(平成27年4月1日から平成29年3月31日まで)。※敬称略

幸子(紀南組覚照寺)、委員 得中美也子(和歌山組称名寺)、雑賀佳奈子(和歌山組円明寺)、宮脇由美(和歌山東組浄徳寺)、釘 貴貴代(和歌山西組西往寺)、河野雅子(和歌山北組善教寺)、寺本美子(加茂組教徳寺)、藤澤勝美(海南組光澤寺)、小阪美幸(海南組光明寺)、長谷川美千子(海草組報徳寺)、麻生晶子(海草組法照寺)、山本和恵(伊那組蓮乗寺)、志場むつみ(有賀組正善寺)、三枝百代(有賀組円照寺)、池永弥生(有田南組安楽寺)、茂野トキ子(有田北組浄念寺)、児嶋 祐子(有田北組浄満寺)、亀井あゆみ(日高組長寛寺)、片桐静子(日高組円行寺)、笹野加余子(御坊組一念寺)、木坊子裕子(御坊組光源寺)、北條智 佐子(紀南組妙道寺)



願寺)、佐曾仔利子(有田北組専教寺)、委員 加藤 克子(和歌山西組万福寺)、武内みゆき(和歌山北組善勝寺)、堀口睦子(海草組安養寺)、藤谷佳鶴子(伊那組円照寺)、上前静子(有賀組照円寺)、蔵本ミキ子(有田南組正法寺)、

鷲森テレホン法話 073-422-0243 ころの電話 (海南組西光寺) TEL(073) 487-2430 ヤングころの電話 (同上) TEL(073) 487-0404 ころの電話 (御坊組専福寺) TEL(0738) 44-0874

昔の御坊さん立派だった

今年も7月9日、和歌山天空襲の日を迎える。1945年(昭和20)のこの日、和歌山市街地は米軍の焼夷弾爆撃によって焦土と化し、「御坊さん」と親しまれた鷺森別院の本堂・諸堂も灰燼に帰した。それから70年。戦火に遭う前の鷺森別院の記憶を少しでも残そうと、園田香融さんの呼び掛けで座談会を企画。題して「戦前戦中の鷺森別院を語る」。

園田 鷺森御坊(現鷺森別院)が現在地に落ち着いたのは1563年(永禄6)のことです。1580年(天正8)には、大坂本願寺での信長との合戦が和平となり、当時のご門主である頭如上人が4月に南向きされて、3年余り鷺森御坊が本願寺の本山になります。

その後、和歌山の城下町がつくられる際、1601年(慶長6)に「東西百六間、南北百三十二間、合



園田香融さん

座談会 戦前戦中の 鷺森別院を語る



思い出を熱く語り合う(左から園田香融さん、小林史郎さん、印南俊夫さん、福呂瑞穂さん)



空襲に遭う前の鷺森別院本堂

せて七千四百九十四歩」(玄智『大坂本願寺通記』)が寺内となりました。

1723年(享保8)には17間四面の本堂(写真)が完成します。本堂は今の南向きではなく東向



小林史郎さん

きですから、正門は東側。南側の門は通称裏門といひ、長屋門でした。

出席者

- 園田香融 (86) 和歌山組妙慶寺前住職 関西大学名誉教授
- 小林史郎 (82) 和歌山組本弘寺門徒
- 印南俊夫 (87) 和歌山組法林寺門徒
- 福呂瑞穂 (82) 和歌山組法林寺門徒

鷺森幼稚園と日曜学校懐かしい

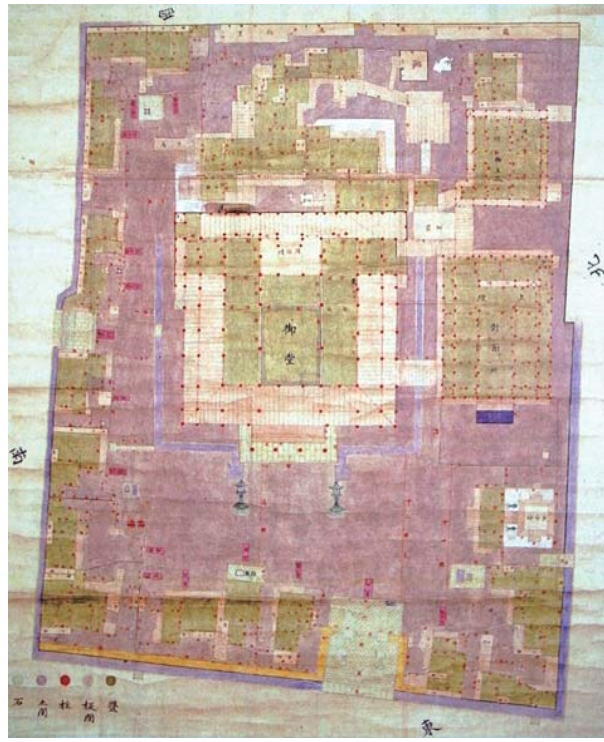
ば、本堂に向かって右側に、それまでの本堂を改築した対面所、その奥には御主殿という門主が住まれる建物や能舞台もあり、これらの建物が空襲まで残っていたわけです。

小林 立派な本堂でした。私は元寺町1丁目から鷺森幼稚園に通ってましたが、正門から入ると左手のほうに、大きなイチヨウの木もありました。

園田 高さ20から30メートルありましたね。

小林 ギンナンを拾いにいったらかぶれてね。

福呂 うちは屋形町4丁目



明治8年ごろに描かれた鷺森御坊境内絵図

目にあつたんですが、親父が熱心な門徒で、小学1年ごろから親父に連れられて、

毎朝6時から鷺森別院のお朝事(朝のお勤め)に参加して、

そのあと御文章を拝読してお説教。お勤めされる僧侶の方は1人か2人で、お参りは20人ほどだったと思います。

お説教が始まると、私がおもてなすので、親父が縁拭いてよと言つて雑巾を出して、それを私がモップの柄に付けて、本堂の濡れ縁を掃除するんです。そのとき板目に沿って何度も往復するのが面倒で、端から端まで横にシャーツと走つたら、板が荒れてくる

交通の発達でお参りに変化

の宮本英子さんが非常に貢献されたと聞いています。

印南 うちが東鍛冶屋町



福呂瑞穂さん

だったんですが、中橋から真っ直ぐ裏門に入って、すぐ右手が幼稚園でした。

小林 園舎の前には、柵で囲われた砂場やすべり台などの遊び場もありました。

園田 幼稚園は何クラス

あつたんですか。

印南 3つあつたと思います。たしか赤組、黄色組、紫組。私は黄色組で担任は神田先生。紫組は嶋村愛子先生でした。

小林 ぼくは紫。運動会

のとき、イチヨウの木の下で何か踊つた記憶がある。

園田 幼稚園ができたおかげで、日曜日は園舎が空いてるから、それを利用して日曜学校が始まったんですね。南紀仏教婦人会付属日曜学校。由良浅次郎さんの奥さん紀美子さんなどが提案されたと聞いています。

幼稚園の嶋村先生がオルガンを弾いてくれて歌を歌い、十二礼でお勤めです。

何人ぐらいお勤めですか。

小林 自分が行つたころは20人いるかないか。

園田 そんなもんですね。私は昭和12、13年ごろに3年行つたんですが、そのときの日曜学校の生徒章が残ってます。(3人に負せる)。

日曜学校の先生は嶋弁立さん(専光寺前住職)。大江山の鬼退治の話をしてくれたのが面白くて、今でも覚えてます。

戦時下ということですが、昭和12年に日中戦争が始まったとき、兵隊さんで兵舎がいっぱいになって、うちの寺でも20人ほど泊まりました。別院にも泊まったと思います。それと金属回収。別院の仏具もおそらく取り上げられた。

勤務奉仕もありました。

和歌山教区の男の住職なんか20人ほど、長崎県の軍艦島で石炭掘りに従事して大変苦勞された話をお聞きしたことがあります。

印南 空襲のときはすぐに逃げてしまいましたので、鷺森別院が焼けることとは分からんですね。

福呂 私ら家族は東へ東へ逃げました。和歌山城燃えてるのを眺めながら逃げたんです。ピンク色に燃えて、それはすごかった。

園田 和歌山城が燃え落ちたのを見た人はちよちよいあるんですが、御坊さん

が燃えたの見た人というのは聞いたことがない。それも含め、戦前の鷺森別院をご存じの方は、情報をお寄せ下されば有り難いですね。本日はお集まりいただき、ありがとうございます。

日高別院

100歳おめでとう

花まつり・降誕会・湯川忌・御坊幼稚園創立100周年記念法要



本堂でお勤めをするお稚児さんと家族

平成27年、学校法人 本願寺学園御坊幼稚園が創立100周年を迎えました。大正4年の創立以来、100年の歴史を紡いできましたが、その間には、昭和28年の大水害で園舎が被災したり、昭和33年に放火により園舎が全焼したりと、いくつもの危機がありました。近年では御坊市の過疎化による人口減少があり、

160人の園児の定員に対して、約4分の1にまで減少したこともあり、一方、嬉しい出来事もたくさんありました。今年には23人が入園し、総勢68人となり活気が戻ってきました。

また、平成25年には女優の富司純子さんがプライベート旅行を利用して、20年ぶりに御坊幼稚園を訪問されました。富司さんは両親が疎開してきた御坊で生まれ、5歳で大阪に引っ越しするまで御坊で生活をされ、同園にも通われていたそうです。「私もここ(御坊幼稚園)の出身なのよ。私が昔住んでいたのは御坊小学校の前の辺り。西川ではシジミがとれたのを覚えています。御坊へ帰ってくるのは、娘(女優の寺島

のぶさん)が小学校のときに一緒に来て以来です。今日はこれから煙樹ヶ浜に引っかかすね」と気さくにお話をされていました。5月10日の日曜日、別院近隣に住む方々を含め、多くのみなさまのお力添えにより、同園の園児を含めた88名のお稚児さんも参加して、五月晴れの快晴の下、花まつり・降誕会・湯川忌に合わせ、御坊幼稚園創立100周年の記念法要が日

高別院で盛大に執り行われました。午後1時からの開式を今か今かと待ちわびるお稚児さんとその家族や参拝者で本堂は満堂になりました。園児のお勤めとして「帰命無量寿如来」と歌「こど



御坊幼稚園の園舎

もの花まつり」「親鸞さまの誕生日」で始まり、その後、僧侶も一緒にみんなでお勤めをされました。お勤めの間には、代表の園児達がお釈迦さまの誕生仏に甘茶をそそぐ灌仏を行いました。その後、日高別院周辺の商店街を約40分かけて稚児行列が練り歩きます。仏旗を先頭に、白象を引く子ども達、雅楽を演奏する奏楽員、お稚児さんと家族、そして最後に僧侶が続ぎ、沿道にはこのパレードを見ようと大変な人だかりができました。お稚児さんに向かって手を振ると、お稚児さんにもこやかに手を振って答えていました。行列の到着場所である日高別院正



仏旗を先頭にパレード

「らいはいのうた」をお勤めしました。お勤めの間には、代表の園児達がお釈迦さまの誕生仏に甘茶をそそぐ灌仏を行いました。その後、日高別院周辺の商店街を約40分かけて稚児行列が練り歩きます。仏旗を先頭に、白象を引く子ども達、雅楽を演奏する奏楽員、お稚児さんと家族、そして最後に僧侶が続ぎ、沿道にはこのパレードを見ようと大変な人だかりができました。お稚児さんに向かって手を振ると、お稚児さんにもこやかに手を振って答えていました。行列の到着場所である日高別院正



プトラくんがお出迎え

創立100周年を記念する素晴らしい法要となりました。(日高別院法要委員会)

日高別院の催し

■秋季彼岸会 9月25日 午後1時30分から阿弥陀経をお勤め。引き続き午後3時まで中岡順忍輪番の法話。

響流十方

7~9月の催し

本山

- 8月6~10日 朝の法座 (大谷本願)
- 8月14~15日 孟蘭盆会 (本願寺)
- 8月15日 戦没者追悼法要 (本願寺)
- 9月18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
- 9月20~26日 秋季彼岸会 (本願寺)

和歌山教区

- 7月2日 仏教婦人会連盟委員会(鷺森別院)
- 7月6日 少年連盟委員会(鷺森別院)
- 少年教化アドバイザー協議

- 会(鷺森別院)
- 7月7日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)
- 第8回紫水会
- 7月9日 平和を希う念仏者の集い(鷺森別院)
- 7月13日 仏教婦人会連盟委員研修会(日高別院)
- 7月16日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 7月25日 教区寺族青年連盟総会(鷺森別院)
- 8月5~6日 第42回教区少年連盟児童念仏奉仕団(本願寺)
- 9月14日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 9月5日 第1ブロック聞法の集い(鷺森別院)
- 第2ブロック聞法の集い(吉備門信徒総研修会)
- 第3ブロック聞法の集い(ドーム)

教区内各組

門信徒総研修会(御坊市民文化会館)

- 和歌山組**
 - 7月11日 第6期連続研修会⑧(鷺森別院)
 - 7月25日 組内会(未定)
 - 9月12日 第6期連続研修会⑨(鷺森別院)
- 和歌山東組**
 - 7月11日 僧侶研修会・組会(鷺森別院)
 - 8月23日 和歌山東組子ども集い(キッズサンガ)
- 和歌山西組**
 - 7月5日 第16期連続研修会②(願成寺)
 - 7月12日 第8回和歌山西組子ども集い(キッズサンガ)
 - 8月2日 組内会(正立寺)
 - 9月13日 第16期連続研修会③(正立寺)
- 加茂組**
 - 7月11日 加茂組仏教婦人会総会・研修会(遍照寺)
 - 7月未定 第15期連続研修

- 会①(会場未定)
- 8月9日 加茂組仏教壮年会総会・研修会(青蓮寺)
- 8月未定 第15期連続研修会②(会場未定)
- 9月未定 第15期連続研修会③(会場未定)
- 海南組**
 - 7月未定 組連研再開に向けての打合せ会(了賢寺)
 - 8月未定 海南組子ども集い(キッズサンガ)
- 海草組**
 - 7月4日 組内会(報徳寺)
 - 7月未定 海草組寺族女性会(会場未定)
- 伊那組**
 - 9月未定 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動推進協議会(橋本・極楽寺))
- 有賀組**
 - 7月25日 組内会(円照寺)
 - 8月1日 有賀組子ども集い(円照寺)
 - 9月9~10日 第17回有賀組念仏奉仕団(本願寺)
- 日高組**
 - 7月12日 日高組総代会前期研修会・第6回組内寺院巡り(高台寺・莊嚴寺・一

行寺

- 8月1日 第9期連続研修会④(浄明寺)
- 8月22日 日高組子どもの集い(キッズサンガ)
- 光専寺

御坊組

- 7月18日 第7期連続研修会⑧(日高別院)
- 8月下旬 第8回御坊組キッズサンガ(日高別院)
- 9月12日 第7期連続研修会⑨(日高別院)

得度

- 3月 川越頭之(御坊組正覚寺)
- 5月 小阪徳秀(海南組光明寺)、栖原清明(有田南組極楽寺)

新入職員紹介

2015年4月1日の人事発令により、本願寺鷺森

教師

- 3月 佐々木実結(紀南組専光寺)
- 4月 小島由美子(加茂組光輪寺) 和本正也(海南組西法寺)、和本賢一(海南組西法寺)

敬吊

- 3~6月
- ▽山本昭(和歌山北組浄永寺・衆徒) 3月6日
- ▽平林宗雄(有田南組福蔵寺・前任職) 4月3日
- ▽西岡富子(和歌山東組西教寺・前坊守) 5月31日
- ▽荻野義嗣(海草組教蓮寺・住職) 6月14日
- ご生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げ、謹んで敬吊の意を表します。

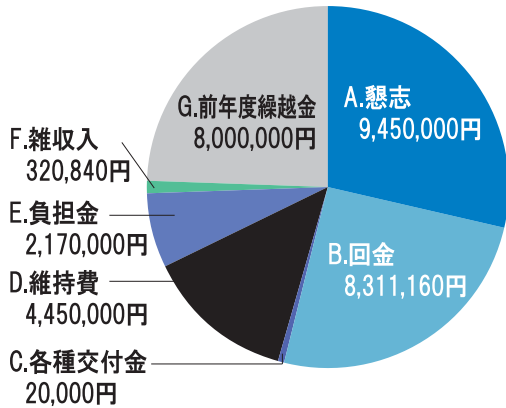


別院・和歌山教区教務所に武藤広海氏(長崎教区諫東組光源寺)が着任した。「和顔愛語をモットーに、笑顔と熱意を大切にしています。一生懸命に宗務に励みますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます」

平成27年度本願寺鷲森別院一般会計歳計予算

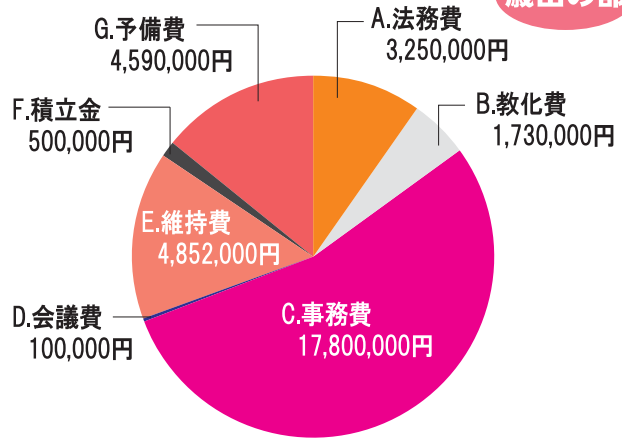
（自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日）

歳入の部



款	費 目	本年度予算額
A	懇 志	9,450,000
B	回 金	8,311,160
C	各 種 交 付 金	20,000
D	維 持 費	4,450,000
E	負 担 金	2,170,000
F	雑 収 入	320,840
G	前年度繰越金	8,000,000
	合 計	32,822,000

歳出の部

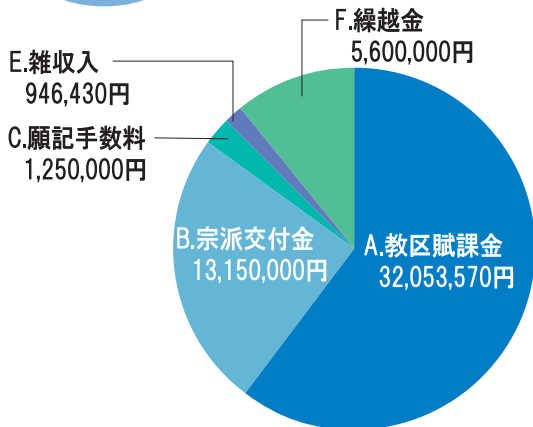


款	費 目	本年度予算額
A	法 務 費	3,250,000
B	教 化 費	1,730,000
C	事 務 費	17,800,000
D	会 議 費	100,000
E	維 持 費	4,852,000
F	積 立 金	500,000
G	予 備 費	4,590,000
	合 計	32,822,000

平成27年度和歌山教区一般会計歳計予算

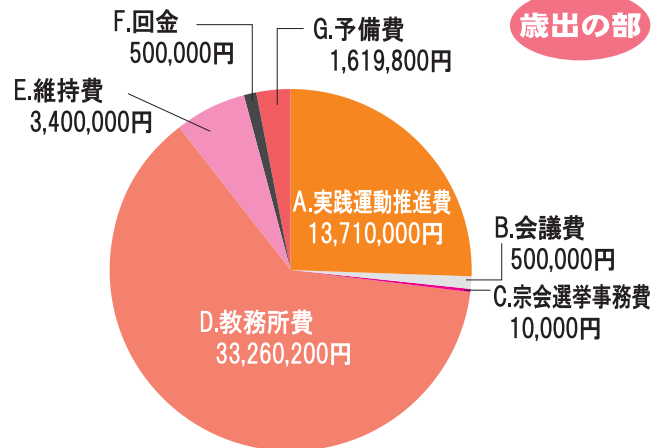
（自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日）

歳入の部



款	費 目	本年度予算額
A	教 区 賦 課 金	32,053,570
B	宗 派 交 付 金	13,150,000
C	願 記 手 数 料	1,250,000
D	回 金	0
E	雑 収 入	946,430
F	繰 越 金	5,600,000
	合 計	53,000,000

歳出の部



款	費 目	本年度予算額
A	実 践 運 動 推 進 費	13,710,000
B	会 議 費	500,000
C	宗 会 選 挙 事 務 費	10,000
D	教 務 所 費	33,260,200
E	維 持 費	3,400,000
F	回 金	500,000
G	予 備 費	1,619,800
	合 計	53,000,000

「御同朋の社会をめざす運動」 (実践運動) 和歌山教区委員会

和歌山教区 重点プロジェクト

2015年度

総合基本計画

和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、実践目標を「次世代を担う人の育成」とし、僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団として進んでいくことをめざして、「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

重点プロジェクト

重点プロジェクトについて

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。

スローガン

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の主旨を簡潔に表したスローガンを掲げます。

「結ぶ絆から、
広がる縁へ」

推進計画

●実践目標

次世代を担う人の育成

●達成目標

- ①子ども・若者の縁づくり。
- ②お寺との縁をさらに深める取り組み。

第22回

平和を希う念仏者の集い勤修

来る7月9日、午後1時30分から、鷺森別院本堂で平和を希う念仏者の集いが勤修される。

この恒例の集いは、1994年(平成6)7月8日に和歌山市民会館大ホールで「全戦没者50年追悼法要」が勤修されたのが始まり。戦争50年を節目に、御

同朋の社会をめざす非戦・平和の取り組みから、すべての教区で「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」の趣旨を体した法要を勤修していかうという宗派の呼びかけにより、当時の教区基幹運動推進委員会が主となり開催した。

1945年7月9日は、

●2015年度推進計画
①御同朋・御同行の精神に基づき人の育成に取り組み

子ども・若者がお寺に縁を深める取り組み。

▼これまで寺院・法座等に関わりのなかった方へのアプローチ。

▼積極的に佛寺の活動に参加する人を育て、継続したつながりをもっていく。

▼継続して行う活動や研修。

▼キッズサンガの充実。

▼各教団体の活性化をはかる。

▼僧侶研修会やブロック別

門信徒の集い、平和の日の集いの開催。

▼福祉研修会やビハーフ講座の開催。

▼全員伝道・全員聞法に沿った法座活動の推進。

▼組連研の開催促進と中央教修への参加奨励。

▼ビハーフ活動や募金活動の継続。

▼災害対策支援活動。

▼布教団と協力しての法座支援活動。

▼広報活動(教区報・ホームページ)の充実。

③その他

▼「近同推」をはじめ和歌山県同宗連などの他団体との連携をはかる。

▼その他必要と思われること。

●2016年度推進計画

・前年度の取り組みの成果と問題点を総括し、課題と展望を明らかにした上で、推進計画を作成する。

●2017年度推進計画

・前年度の取り組みの成果と問題点を総括し、課題と展望を明らかにした上で、推進計画を作成する。

・三年間の総括と次期の重点目標等の作成。

第2次世界大戦のなか、和歌山市大空襲があった日。その法要をお勤めして以降、和歌山教区では、この日を「平和の日」と位置づけ、

「平和の日」と位置づけ、いのちの尊厳を守る取り組みとして「平和を希う念仏者の集い―全戦没者追悼法要―」を毎年開催。今回で22回目を迎える。

■記念講演

講師 本多静芳さん

講題 まことの平和と真宗

〜世の中安穩なれ〜

■日程

13時から 受付

13時30分 追悼法要

14時20分 仏教讃歌

15時10分 記念講演

16時10分 閉会

つれもて 聴こら

「南無阿弥陀仏をとなふれば、十方無量の諸仏は百重千重圍繞して、よろこびまもりたまふなり」(『註釈版聖典』576頁)と、親鸞さまは阿

軌保真澄

弥陀さまのご本願を喜ばれました。

私たちを必ず救うとお誓いくださっている阿弥陀さまのご本願の教えに出会い、そのご本願が成就した証しであるお念仏を称えさせていただくならば、あらゆる仏さま方が百重にも千重にも私たちを取り囲んで、喜び護ってくださいさるとつたわれるご和讃です。

親鸞さまはご生涯を通して、阿弥陀さまのお救いを高らかに讃えていかれた方ですが、その生きられた時代は決して明るいものではありませんでした。むしろ戦乱や天災によって社会が乱れ、「末法の世」が強

く意識され、世の中に悲壮感が漂い、生きる希望が失われかけていた時代でした。「末法」とは、仏教で説かれる「三時思想」による

決して変わることはない教え

時代の捉え方です。三時思想とは、お釈迦さまが入滅されたあと次第に世の中が濁り、それにつれて仏教も徐々に衰退していくという



必ず救うと誓われた仏さま

考え方で、時代を3つに区分します。

お釈迦さまが入滅されて500年間を「正法の時代」といい、お釈迦さまの説かれた教えと、その教え

に従って修行する人があり、それによってお覺りを開かれる人もおられる時代です。次の1000年間を「像法の時代」といい、教えと

変わるごのなく有り続けているお釈迦さまの教えを学ばれ、私たちが救われ、仏となることができるのは、その教ある教えの中でも、阿弥陀さまのご本願の教えのほかにはないと考えられました。そして、ご本願の教えが説かれている浄土三部經(仏説無量壽經・仏説觀無量壽經・佛說阿彌陀經)を私たちの拠り所としてお示しくださったのです。

鷺森別院の催し

■常例法座

7月15、16日横田正純師(八幡市上津屋浜垣内・善照寺)。8月16日、布教使は未定。9月15日、内藤良誠師(三原市大和町椋梨・明圓寺)、16日、玉川英城師(海草郡紀美野町柴目・西方寺)。いずれも午後1時30分からお勤め。引き続き午後3時30分まで法話。

■五蘭盆会

8月15日、午後1時30分から本堂で阿弥陀經をお勤め。引き続き午後3時まで法話。布教使は未定。

■秋季彼岸会

9月22、24日の三日間、恒例の秋季彼岸会をお勤めする。毎座午後1時30分から午後3時まで。お勤めは、初日、仏説無量壽經。二日目、仏説觀無量壽經、三日目、佛說阿彌陀經。布教使は未定。

■子ども会

7月11日、9月12日の午前10時から正午まで開催。詳細は別院まで。